

A I オンデマンド交通実証運行 乗車体験会

杉 並 区

令和6年12月19日、20日

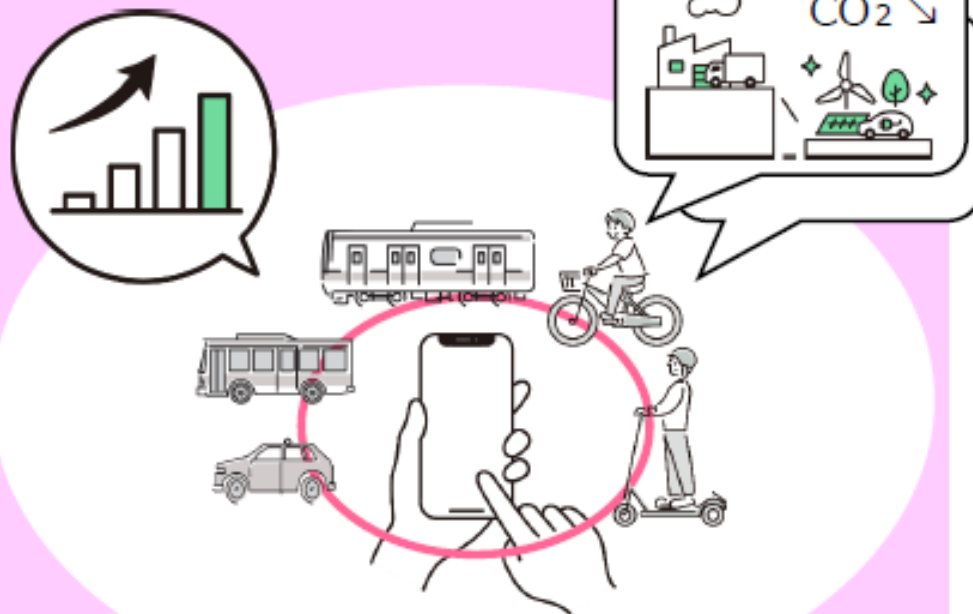
実証運行の目的①

持続可能な交通体系の確保・移動需要の創出・移動の高付加価値化

- ・公共交通の利用減少⇒減便・路線廃止
- ・運転手不足（バス・タクシー）



公共交通のサービス水準を維持しつつ、更なる利用促進を図る



マース
MaaS(Mobility as a Service)

こうした危機的状況は地方部だけでなく、
東京都内にも迫っている

区のさまざまな交通を連携していくことで
新たなモビリティサービスとして提供する

実証運行の目的②

杉並区総合計画・実行計画で位置づけ

基本構想
(区の最上位の計画、区政運営の指針)

みどり豊かな 住まいのみやこ

R6改定
総合計画
(基本構想実現の
具体的道筋となる計画)

誰にとっても移動しやすい
地域交通環境の整備

→ デジタル化 交通事故ゼロ 脱炭素 等

R6改定
実行計画
(財政上の裏付けを
有する計画)

グリーンスローモビリティ
MaaS 自動運転

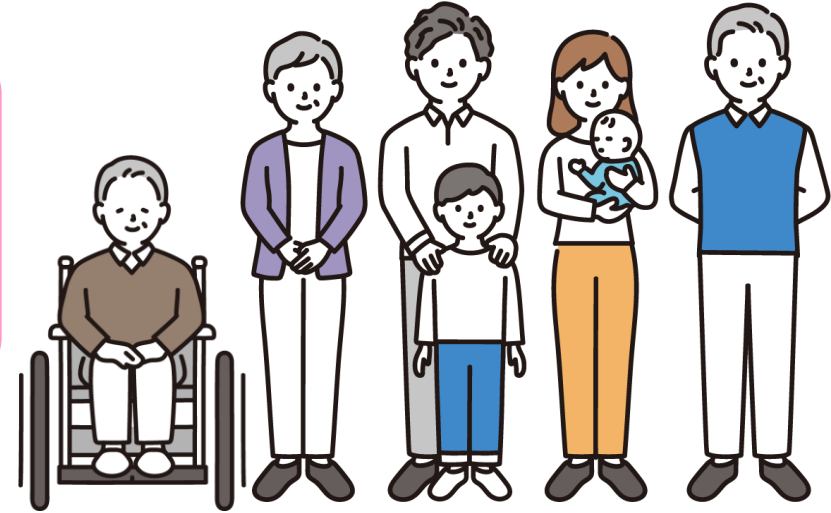
AIオンデマンド交通 等

→ 外出の促進 移動の活性化
公共交通の利用促進

杉並区地域公共交通計画での位置づけ

区の公共交通に求められる役割

区民一人ひとりの移動を
生涯にわたって支え、
移動の自由を確保する



計画の基本方針

「誰もが生活圏で移動しやすい仕組み」を
みんなで考え、みんなが支える



実証運行の目的④

交通不便地域を対象にデマンド交通を検討

目標3 気軽に自由な外出と回遊が確保されている

施策3-1 新たな公共交通サービスによる移動の選択肢の拡充

区内における公共交通不便地域は、すぎ丸の運行等によって概ね解消されましたが、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けては、区内に住む区民一人ひとりに対して移動の選択肢を拡充していくことが求められます。

とりわけ、自宅から鉄道駅やバス停まで遠くてアクセスしづらい等の要因によって、潜在的な公共交通の利用意向があるにも関わらず、移動をためらう方々の移動の選択肢を拡充することを検討していきます。既存の公共交通体系の維持に加え、新たな公共交通サービスの活用も検討・実施していきます。

なお、新たな公共交通サービスは、鉄道やバスといった幹線道路の運行を担う既存の公共交通を補完して区内の支線的な道路を走行する、もしくは区民の移動需要に応じたきめ細やかな移動サービスとして活用することを検討します。運行にあたっては、既存の路線と競合しないように調整を図るものとします。

また、福祉有償運送運営協議会や外出支援相談センター等とともに、公共交通と福祉交通との連携を十分に図っていきます。

【実施地域】主に、公共交通不便地域を中心に区内全域（取組1、取組3、取組4）
荻窪地域（取組2）

取組1 自宅と交通結節点までのファースト・ラストワンマイルをつなぐ 公民連携したデマンド交通の実証運行及び実施

実施主体 区、バス事業者、タクシー事業者 連携 民間事業者

実施内容 自宅と、鉄道駅やバス停の交通結節点を結び、区域を限定したデマンド交通をタクシー事業者等と連携して、主に公共交通不便地域において実施する。
例えば、本取組におけるデマンド交通は、既存のバス・タクシーとは異なる「急がない乗合交通」としてサービスを提供し、対象地域に住んでいる高齢者や障害者、子育て世帯など移動をためらう区民を対象に、ファーストワンマイル・ラストワンマイルの移動の負担を軽減させ、お出掛けを促すことを目的とする。
実証運行を通じて、その導入効果を検証しながら進めることとする。

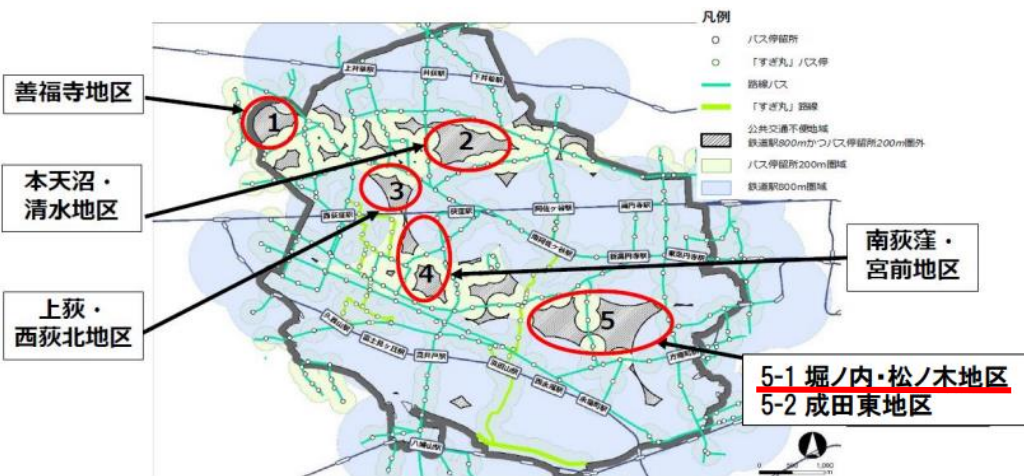
実施期間

令和5(2023)～ 令和8(2026)年度				
年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度
	検討 (実証運行など)			

公共交通不便地域を対象に、「新たな乗合交通」を検討。

実証運行の目的⑤

交通不便地域から堀ノ内・松ノ木地区を選定



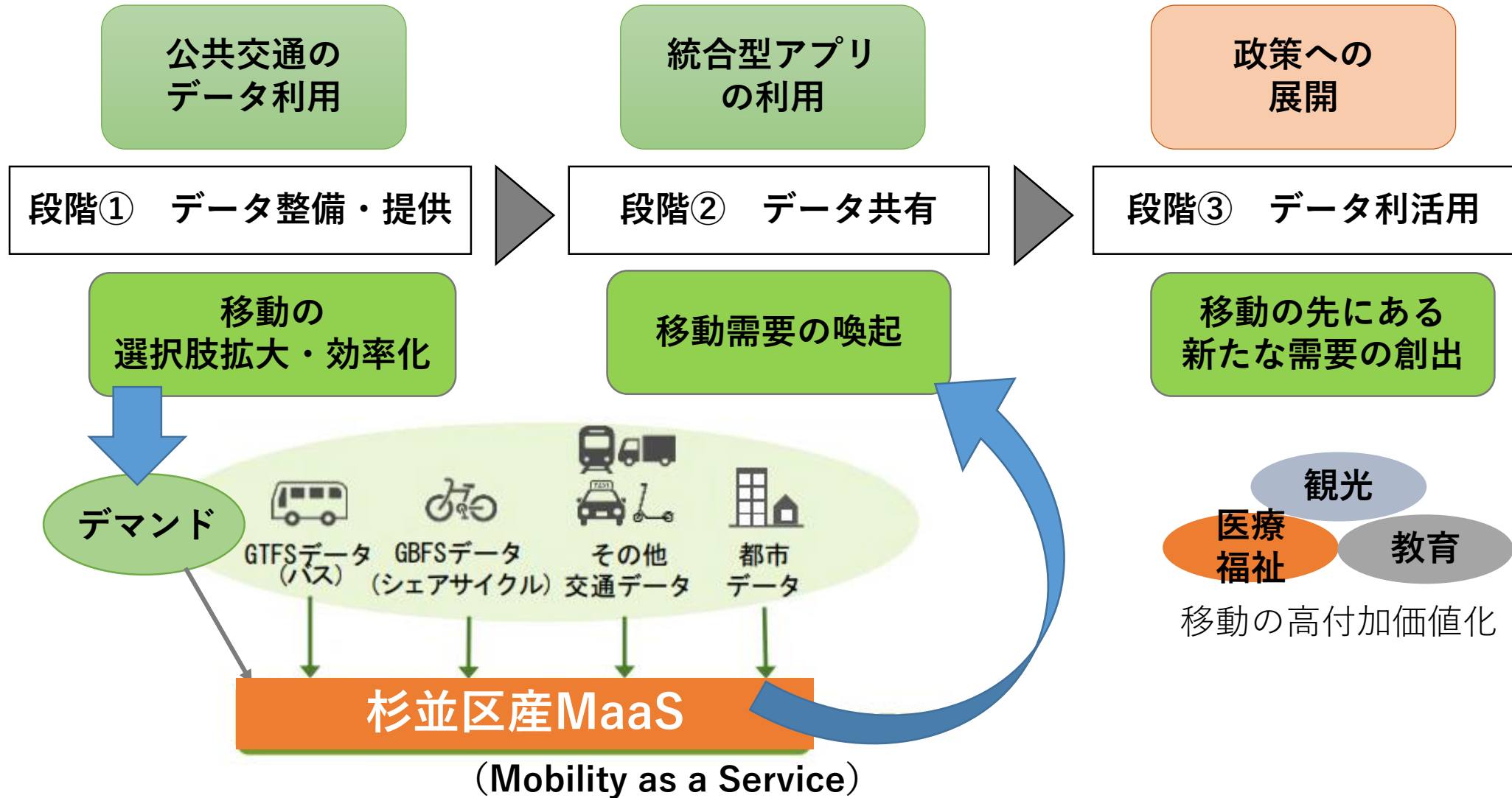
公共交通不便地域名	該当する町丁目
1 善福寺地区	善福寺三丁目・四丁目
2 本天沼・清水地区	本天沼一丁目・二丁目・三丁目、清水一丁目・二丁目・三丁目
3 上荻・西荻北地区	上荻二丁目・三丁目・四丁目、西荻北一丁目・二丁目
4 南荻窪・宮前地区	南荻窪一丁目・二丁目・三丁目、宮前二丁目・三丁目
5-1 堀ノ内・松ノ木地区	堀ノ内一丁目・二丁目、大宮一丁目、松ノ木一丁目・二丁目
5-2 成田東地区	大宮二丁目、成田東一丁目・二丁目

評価指標		①	②	③	④	⑤-1	⑤-2
着眼点① 地域特性	交通結節点へのアクセス	①最寄りバス停	2		1	2	1
		②最寄り鉄道駅	2		1	2	1
	周辺施設へのアクセス	①高齢者関連施設		2		1	1
		②子育て世代関連施設	2			1	
		③障がい者関連施設	2	2		2	2
	狭あい道路の割合			1		2	2
高低差		1		1		2	1
着眼点① 評価		5	9	1	5	12	8
着眼点② 潜在需要となる対象者数	対象者数	①高齢者人口		2	2	2	
		②子育て世帯数		2		2	
	着眼点②評価		0	4	2	4	4
着眼点③ 移動実態	外出率・トリップ数	①高齢者				2	2
		②子育て世帯	2	2	2	2	
		③障がい者		2			2
	対象地域の移動実態			2	2	2	
着眼点③評価		2	6	4	4	4	4
総合評価（優先実施地域）		7	19	7	13	20	12



実証運行の目的⑥

既存交通の利用促進・区民の外出促進につなげる



AIオンデマンド交通とは①

AI活用により
リアルタイムに
最適配車を行
うシステム



1. デマンドに応じて車両が走行






2. 異なるデマンドが発生



3. リアルタイムにルート最適化

株式会社未来シェアwebサイトより

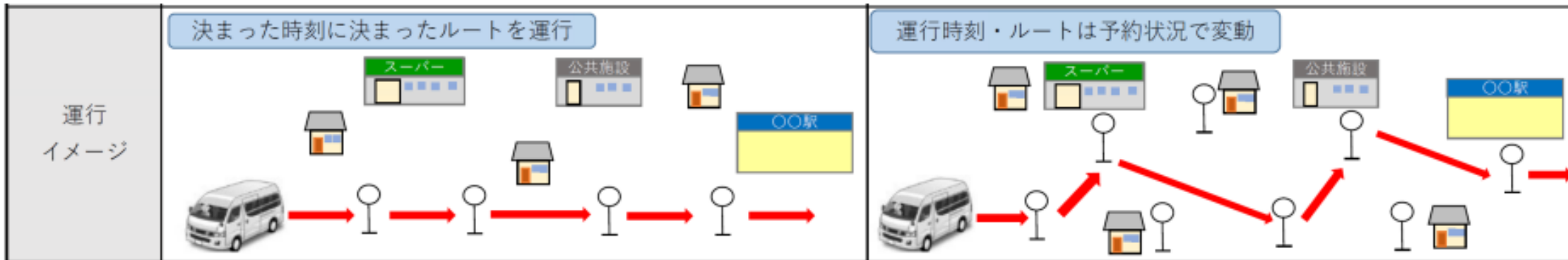
	路線バス 	デマンド交通 	タクシー 
予約	不要	必要	状況に応じて必要
乗車形態	乗合	乗合	個別
経路・時間	固定	変動	自由
乗降場所	停留所のみ	きめ細かい乗降拠点	自由
運賃	安	中	高

日本経済新聞記事より
杉並区作成

AIオンデマンド交通とは②

定時定路線型（路線バスなど）

デマンド型（仮想バス停あり）



仮想バス停（ミーティングポイント）の例



当初はタクシー車両を使用



AIオンデマンド交通とは③



側面にマグネットが表示

運行計画

事業主体	杉並区
運行事業者	区内に営業所を持つタクシー事業者
運行時間	9:00～17:00
運行地域	堀ノ内・松ノ木地区
期間	令和7年1月～令和7年12月
運賃	現金・300円(未就学児無料) クレジットカードによる事前決済機能などを検討中
運行台数	1台(JAPAN TAXI(乗車定員4名※))※車椅子乗車の場合は2人まで 2台での運行も検討中
利用方法	即時予約 及び 前日予約 ・スマートフォンアプリ(24時間受付) ・電話(9:00～17:00受付※)※ご連絡には通話料がかかります
乗降場所	別紙「ミーティングポイント図」参照 各ミーティングポイント間では、途中の乗車も降車もできません

実施スケジュール

これまで	検討部会の開催、警察との協議、区民説明、アンケートの実施 等
12月19日・20日	地域住民向け乗車体験会(本日)
令和7年1月8日	実証運行開始 →定期的な検証と改善 2年目以降の取組についても検討
令和7年12月26日	1年目の実証運行終了